

美術領域 学びの流れ

美術領域では1年次に「描くこと」と「つくること」を基礎からしっかり学び、2年次より日本画コース・洋画コース・現代アートコースの3つから1つのコースを選択します。

アトリエのような個人ブース・少人数制のマンツーマン指導といった充実した制作環境の中で、思いっきり作品制作に取り組んでください。

さらに作品をつくるだけではなく、「なぜつくるのか」「何を伝えたいのか」を考えることで、幅広い世界との関わりと多様な価値観を学びます。

1
年次

ものづくりの基礎を学び造形力を養う

描く（すべての基礎となる見る力・描く力）



つくる（学内施設を活用し造形感覚を養う）



考える（柔軟なアイデアで新しいものを創造する）



2・3 年次

専門的な技術や知識を身につけ、自分ならではのテーマを発見する

日本画コース

岩絵具や膠（かわ）などの素材、そして動植物や風景といったさまざまな自然と向き合うことで、自分自身と対話をする。



素材・技法研究

模写

作家研究

写生

動物

人物

風景

テーマ制作

植物

静物